



西田学園へのコミュニティ・スクール導入 に向けた準備について

義務教育 9 年間の学びを地域ぐるみで支える仕組みとして、学校運営に地域住民や保護者の皆様が参画するコミュニティ・スクールが有効であることから、子供たちの豊かな学びと成長を実現できるよう、教育委員会では、小中一貫教育と併せて、コミュニティ・スクールの準備を進めているところです。

コミュニティ・スクールとは = 学校運営協議会を設置している学校

<主な役割>

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる。
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見が述べることができる

<期待される効果>

- 【子どもにとって】子どもたちの学びや体験活動等が充実します
- 【保護者にとって】地域で子どもたちが育てられているという安心感があります
- 【地域にとって】学校が社会的な繋がりが得られる場となり、地域の拠り所となります
- 【教職員にとって】地域の人々の理解と協力を得て、学校運営が充実します



【先進地視察】

平成 29 年 7 月 11 日 (火) 学校運営協議会準備委員会を立ち上げ、11名の委員が先進地である国見町を視察しました。国見町は保育所、幼稚園、小学校、中学校がそれぞれ町に1つという特性を生かし、それらを「国見学園」と称し、合同で一つの学校運営協議会を組織しています。今回の視察時には、国見学園コミュニティ・スクールの概要をお聞きするとともに、テーマ「子どもたちのいじめ問題に対して地域の大人は何ができるのか」についての熟議の様子を視察することができました。



<熟議の様子を視察する委員>

※ 西田学園開校準備に関する「西田通信」は、西田中学校HP「おしらせ」また、市HP「教育」でご覧になれます。